SI-37P0A-002-00

安全の為に必ずお守りください

⚠警告

- ブレーキアームをフレームに固定するときは、チェーンステーのサイズに合ったアームクリップをクリップボルトとクリップナットで指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。
  クリップナットは、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用してください。クリップボルト、クリップナット及びアームクリップはシマノ製をお勧めします。なおアームクリップは、チェーンステーに合ったものをご使用ください。
  ブレーキアームのクリップナットが外れたり、クリップボルトまたはアームクリップが破損すると、ブレーキアームが回転し突然ハンドルがとられたり、車輪がロックして転倒し大怪我をすることがあります。
- フレームにハブを取付けるときは、所定の回り止めワッシャーを必ず左右に取付け、ハブナットを規定トルクで確実に締付けて固定してください。回り止めワッシャーを片側だけしか取付けなかったり、ハブナットの締付けが不完全であると、回り止めワッシャーが外れて回転し、カセットジョイントが回り、不意にハンドルが変速ケーブルで引張られて回る等、重大事故につながるもとになります。
- **製品を取付ける時は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。**またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。
  ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をする場合があります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意：

- 変速したあとで確実な変速動作のため、ハブ内部の爪とラチェットの間でまれに音が発生する場合があります。
- 走行中、変速しにくい場合はペダルを止めると変速しやすくなります。
- CJ-NX40 カセットジョンイトには、表組の場合 16 ～ 23T まで、裏組みの場合は 19 ～ 23T までのスプロケットをご使用ください。
- フロントのチェーンリングはギヤ比が約 2.6 になるように設定することを推奨します。
  例：Ｆ４１Ｔ－Ｒ１６Ｔ、Ｆ４２Ｔ－Ｒ１６Ｔ
- 製品の性能を維持するために､使用開始から 2 年間に一度（頻繁に乗車される場合は 5,000km ごと）を目安に、自転車購入店もしくはプロショップで、内部のグリスアップなどのメンテナンスを推奨します。またメンテナンスの際は、シマノ内装ハブ専用グリスまたは、オイルキットを推奨します。専用グリス・オイルキットを使用されない場合、変速機が正常に作動しない等のトラブルの原因となる可能性があります。
- 内装ハブは完全防水ではありません。ハブが浸水するような場所でのご使用、高圧洗浄は内部の錆の原因となりますのでお控えください。
- 車輪の回転が重たくなった場合は、グリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油はおこなわないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を伸ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合は、ギアとチェーンを交換してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法または調整方法について疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- ハブの分解は行わないでください。分解が必要と思われる時は、購入された販売店にご相談ください。

SI-37P0A-002

SG-3R75 CJ-NX40

インター３ハブ

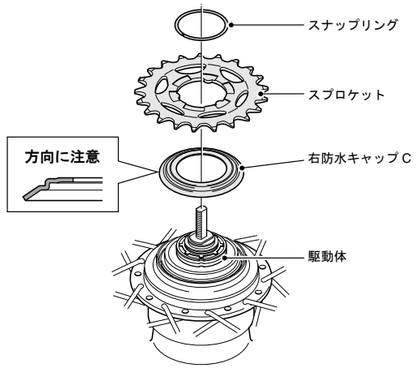
カセットジョイント

ご使用方法

インター Mブレーキおよびインター３用シフティングレバーに添付されている取扱い説明書も合わせてよくお読みください。

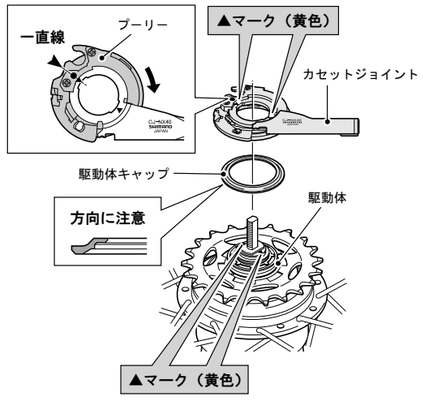
スプロケットのハブへの取付け

右防水キャップ C をハブ本体右側の駆動体に取付けます。次にスプロケットをセットし、スナップリングで固定します。

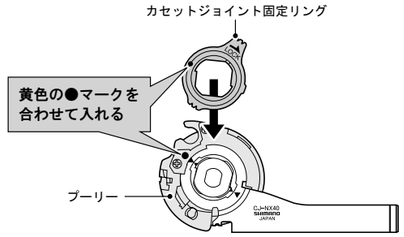


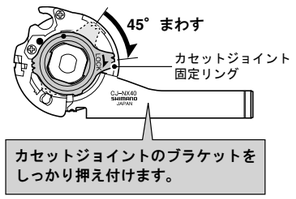
カセットジョイントのハブへの取付け

1. 駆動体キャップをハブ本体右側の駆動体に取付けます。
   次にカセットジョイントのプーリーを矢印の方向に回し、●マーク（黄色）と▲マーク（黄色）を一致させた状態で、カセットジョイントの▲マーク（黄色）をハブ本体右側の▲マーク（黄色）に合わせてセットします。



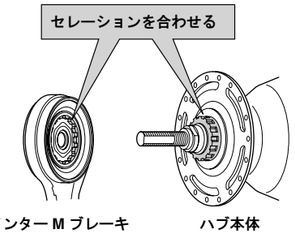
2. カセットジョイント固定リングで、カセットジョイントをハブ本体に固定します。カセットジョイント固定リングの取付けは、黄色の●マークをカセットジョイントのプーリーの黄色の●マークに合わせて入れ、カセットジョイント固定リングを 45°時計方向に回します。





インター M ブレーキのハブ本体への取付け

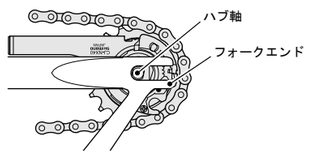
ハブ本体のセレーションと、インター M ブレーキのセレーションを勘合させ、ブレーキ取付ナットを仮止めします。



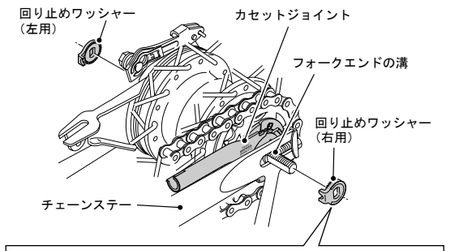
インター M ブレーキの取付けの詳細については、インター M ブレーキの取扱い説明書を参照してください。

ハブのフレームへの取付け

1. チェーンをスプロケットに掛け、ハブ軸をフォークエンドにセットします。

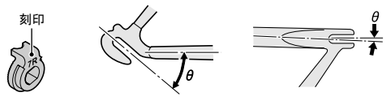


2. ハブ軸の右側と左側に回り止めワッシャーをセットします。このとき、フォークエンドの溝に、回り止めワッシャーの突起部が入るように、カセットジョイントを回し、チェーンステーとほぼ平行に取付けます。



- 回り止めワッシャーは、フォークエンドの形状にあったものをご使用ください。なお回り止めワッシャーには、それぞれ右用と左用があります。

フォークエンド	回り止めワッシャー		
	刻印 / カラー		サイズ
	右用	左用	
逆　爪	7R/ ブラック	7L/ グレー	20°≦ θ ≦38°
正　爪	6R/ シルバー	6L/ ホワイト	θ =0°
正　爪（全ケース）	5R/ イエロー	5L/ ブラウン	θ =0°

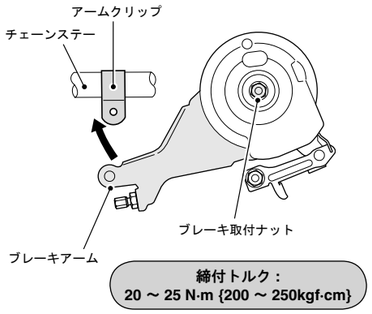


- **突起部をフォークエンド側にセットします。**
- **突起部をフォークエンドの溝に確実に入るように、ハブ軸の前側または後側に入れます。**

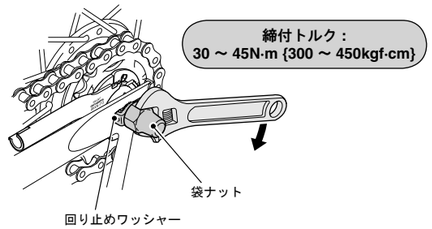
3. インター M ブレーキのブレーキアームを、アームクリップでチェーンステーに取付け、クリップボルトとクリップナットを軽く締めて仮止めします。その後、ブレーキ取付ナットを締付けます。

ご注意：

図のようにブレーキアームの位置がずれて、チェーンステーに仮止めできないときは、ブレーキ取付ナットを一旦ゆるめてからブレーキアームを回し、チェーンステーに仮止めします。その後、ブレーキ取付ナットを締付けます。

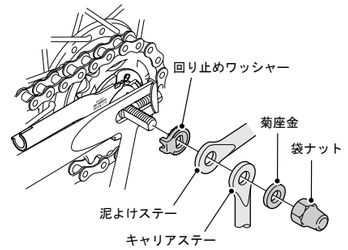


4. チェーンのたるみをとり、車輪をフレームに袋ナットで確実に固定します。

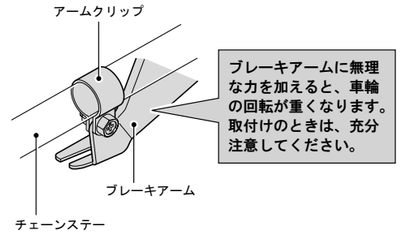


ご注意：

ハブ軸に泥よけステー等を取付けるときは、下図の順にセットします。



5. インター M ブレーキのブレーキアームを、チェーンステーにアームクリップで確実に固定します。

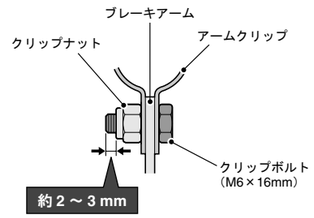


ご注意：

- アームクリップを取付けるときは、クリップナットを 10mm スパナで固定し、クリップボルトを確実に締付けてください。

  締付トルク：
  2 ～ 3 N·m {20 ～ 30kgf·cm}

- アームクリップを取付けた後、クリップボルトがクリップナットの端面から約 2 ～ 3mm 出ていることを確認してください。



この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。
ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。

※取扱い説明書は下記にてご覧いただけます 。
http://techdocs.shimano.com

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961
Fax. 072-243-7847
株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577